

表示温度：OFF値（端子X1 - X2間）
 センサー最低温度：-10℃
 センサー最高温度：370℃
 最高本体周囲温度：125℃
 キャピラリー最小屈曲半径：5mm

開閉容量
 X1 - X2： AC 30(5)A 400V
 X1 - X4： AC 1.5(0.25)A 400V

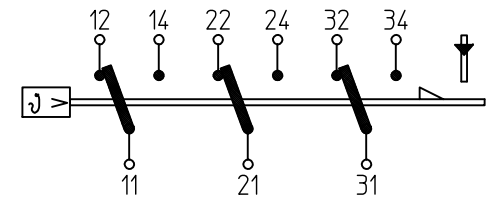
作動温度特性

動作温度： 358℃ -20 K "OFF"

補正係数： 0.45K/K

センサー温度が設定温度に達すると、接点はOFFし、インターロックされる。
 復帰操作はセンサー温度を低下させた後、復帰ボタンを押して行う。

液体膨張センサーシステムにおいて、キャピラリー破損等による液漏れが生じた場合、あるいは、全体の温度が-5℃以下に低下した場合にも、接点はOFFし、インターロックされる。ただし、温度低下によって動作した場合は、センサー温度を20℃に戻した後、復帰ボタンを押して手動復帰させることができる。



配線図

変更	摘要	日付	担当
図番：	YK20190617-3		
検図：	林	フェールセーフ キャピラリー温度過昇防止器55.325	
製図：	菓子野	型式	55.32572.120
日付：	19.6.17	正栄株式会社	